

整理番号：6-2

提言題名：防災無線システムについて

**【提言の要旨】**

私は、防災システムに係る仕事に従事しています。取手市の防災無線を 60MHz のシステムから、280MHz のシステムになぜ切り替えるのでしょうか？280MHz のシステムは、個別受信機としては、ポケベル波を使用しているため、外部アンテナをほとんど必要としないというメリットがあります。しかし、現在運用している、屋外同報拡声は、現状のもので十二分に利用できます。280MHz システムにおける欠点をご存知でしょうか？定型文以外の即時音声放送が出来ず、必ず文字打ちしないといけません。ポケベルはすでに過去の技術です。取手市で導入した PHS もすでに廃止になりました。これからは 5G 時代になっていきます。このような時期にシステム変更は考えられないと思います。

(令和元年 5 月受付)

**【回答の要旨】**

取手市の防災無線は 60MHz 同報系で、市内に防災無線スピーカーとしての子局が 137 局があり、行政からの緊急情報や災害情報を市民の皆様へお伝えする情報伝達手段であります。しかし、近年の災害時、特に大雨や強風の際には屋外からの防災無線の音声聞こえにくいなどの課題があり、避難情報や防災気象情報が、市民の皆様に対し十分に伝達できていない状況であります。このため、防災無線の迅速かつ的確な情報伝達の取り組みや、多重化・多様化対策が一層求められております。

市といたしまして、今回 60MHz を使用する防災無線から、屋内でも受信しやすい 280MHz を使用する防災ラジオの整備を行います。なお、防災ラジオは 2,000 台を購入し学校施設、福祉施設などの公共施設や要配慮者利用施設、自主防災組織や消防団など市と連携している組織や団体などへ無償配布を行います。同時に市民の皆様などの購入希望者に対しては有償貸与を実施し、行政からの緊急情報や災害情報を市民の皆様へより確実に行き渡らせる有効な手段と考えております。

今後も市の防災行政に何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

(安全安心対策課 令和元年 6 月回答)